

2022年度 第3学年 社会科 指導内容・評価規準

担当（白石 祐利）

< 3 学年の重点指導目標（学習指導要領） >

- ①民主政治の意義、国民生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代社会などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深めるとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
- ②国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させ、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
- ③現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を性格にとらえ、公平に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

通年 ICT 使用 NAVIMA 使用予定

月	学習事項	ねらい	時数	評価規準 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
歴史的分野（帝国書院）				
第5部 近代国家の歩みと国際社会				
4 5	2章 開国と幕府の終わり 1 日本を取りまく世界情勢の変化 2 諸藩の改革と幕府の衰退 3 黒船来航の衝撃と開国 4 江戸幕府の滅亡	・欧米諸国のアジア進出と関連づけて取り扱い、幕府が対外政策を転換して開国したことと、その政治的および社会的な影響を理解させ、それが明治維新の動きを生み出したことに気づかせる。	5	①欧米諸国のアジア進出による中国の動き、日本の開国と貿易の開始による政治的、経済的、社会的な影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	3章 新しい価値観の下で 1 新政府による改革 2 富国強兵をめざして 3 人々からみた富国強兵と文明開化	・富国強兵・殖産興業政策の下に新政府が行った、廃藩置県、学制・兵制・税制の改革を取りあげ、近世から近代への転換のようすを、政治や社会の違いに着目して考察し、自分の言葉で表現させる。 ・欧米諸国から取り入れた制度や文化の影響で、社会のようすや人々の生活が大きく変化したことに気づかせる。	4	①富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などをもとに、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②明治政府の諸改革の目的に着目して、諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察したり、明治維新について、近世の政治や社会との違いに着目して、近世から近代への転換のようすを考察したりするなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③明治維新と近代国家の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	4章 近代国家への歩み 1 新たな外交と国境の画定 2 沖縄・北海道と近代化の波 3 自由と民権を求めて 4 帝国憲法の成果と課題	・自由民権運動の全国的な広まり、政党の結成、憲法の制定過程とその内容の特色を扱い、大日本帝国憲法の制定によって当時アジアで唯一の立憲制の国家が成立したことに着目させ、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりに気づかせる。	5	①自由民権運動、大日本帝国憲法の制定をもとに、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②議会政治や政治の展開に着目して、世界との関係や、現代の政治とのつながりを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③議会政治の始まりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
6	5章 帝国主義と日本 1 アジアの列強をめざして 2 朝鮮をめぐる対立 日清戦争 3 世界が注目した日露戦争 4 ぬりかえられたアジアの地図	・条約を改正し、欧米諸国と対等の外交関係を樹立しようとした人々の努力に気づかせる。 ・大陸との関係に着目させ、日清・日露戦争に至るまでの日本の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを扱い、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。	5	①条約改正、日清・日露戦争などをもとに、日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②外交や戦争の展開に着目して、世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③国際社会との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

	6章 アジアの強国の光と影 1 近代日本を支えた糸と鉄 2 変わる都市と農村 3 欧米の影響を受けた近代文化	・富国強兵・殖産興業政策の下、製糸業、紡績業や鉄鋼業などの近代産業が日清戦争前後から飛躍的に発展して、資本主義経済の基礎が固まったことに気づかせる。 ・近代産業が飛躍的に発展したころ、都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたことに気づかせる。	4	①日本の産業革命とこの時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに、日本で近代産業が発達し、近代文化が形成されたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②近代化がもたらした文化への影響に着目して、産業の発展が国民生活や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③近代産業の発達と近代文化の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第6部 二度の世界大戦と日本				
6・7	1章 第一次世界大戦と民族独立の動き 1 第一次世界大戦の始まりと総力戦 2 第一次世界大戦の拡大と日本 3 第一次世界大戦後の欧米諸国 4 アジアの民族自決と国際協調	・第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、日本における民衆の政治意識の高まりと文化の大衆化について理解する。	5	①第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 ①経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。 ②戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②近代後半の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③近代後半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	2章 高まるデモクラシーの意識 1 護憲運動と政党内閣の成立 2 社会運動の高まりと普通選挙の実現 3 近代都市が生み出した大衆文化	第一次世界大戦から第二次世界大戦終了に至る政治・経済・社会・文化動きをアジア諸国・欧米諸国との関係で理解させる。	4	①国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化をもとに、第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②世界の動きとわが国の関係に着目して、第一次世界大戦による日本の社会の変化や影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
7・9	3章 軍国主義と日本の行方 1 世界恐慌と行き詰まる日本 2 欧米諸国が選択した道 3 強まる軍部とおとろえる政党 4 戦争につき進む日本	・経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦勃発までの日本の政治・軍事の動きについて関心を高めて考察し、理解する。	5	①経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦が始まるまでの日本の政治・外交の動きなどをもとに、軍部の台頭から戦争までの経過を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化に着目して、二度目の世界大戦が起こった背景を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③経済の世界的な混乱と社会問題の発生などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	4章 アジアと太平洋に広がる戦線 1 第二次世界大戦への道 2 太平洋戦争と植民地支配の変化 3 戦局の悪化と戦時下の暮らし 4 ポツダム宣言と日本の敗戦	・第二次世界大戦の展開と日本の動向、戦時下の国民生活について考察し、理解を深める。	5	①第二次世界大戦中の日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、戦時下の国民の生活などをもとに、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 ②世界の動きと日本との関連に着目して、二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③第二次世界大戦と人類への惨禍について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第7部 現在に続く日本と世界				
	※各時代の文化	・修学旅行において、寺社や博物館の見学等の体験を通して、政治や社会の動きと関連付けて、各時代の特色を考える。	2	
9	1章 敗戦から立ち直る日本 1 敗戦からの出発	・第二次世界大戦後の冷戦体制と、その中での日本の諸改革、新憲法の制定、独立の達成と安全保	4	①日本の民主化と再建の過程、冷戦などをもとに、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調

<p>2 新時代に求められた憲法</p> <p>3 冷たい戦争とその影響</p>	<p>障政策について考察し、1960年頃までの日本と世界の歩みを理解する。</p>		<p>べまとめている。</p> <p>②諸改革の展開と国際社会の変化に着目して、諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界とのかかわりについて考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③日本の民主化と冷戦下の国際社会について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>2章 世界の多極化と日本の成長</p> <p>1 日本の独立と世界の動き</p> <p>2 冷戦下での日本とアジア</p> <p>3 経済成長による日本の変化</p> <p>4 大衆化・多様化する戦後の文化</p>	<p>・高度経済成長に伴う生活の変化、沖縄返還と日本国交正常化、石油危機の克服と日本の経済大国化について考察し、1960年代から1990年頃までの日本と世界の歩みを理解する。</p>	5	<p>①高度経済成長、国際社会とのかかわりなどをもとに、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②政治の展開と国民生活の変化に着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③日本の経済の発展について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>3章 これからの日本と世界</p> <p>1 グローバル化が進む社会</p> <p>2 激変する日本とアジア</p> <p>3 国際社会におけるこれからの日本</p>	<p>・冷戦終了後の世界情勢について概観し、日本の果たすべき役割について考察する。</p>	3	<p>①冷戦の終結をもとに、国際協調の平和外交の推進、開発途上国への援助などもふまえ、国際社会においてわが国の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②政治の展開と国民生活の変化に着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③グローバル化する世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

公民的分野(教育出版)

第1章 私たちの暮らしと現代社会

<p>4 1節 私たちが生きる現代社会</p> <p>1. つながる私たちと世界</p> <p>5 2. 急速に進展する情報社会</p> <p>3. 誰もが活躍できる社会へ</p>	<p>○現代日本の特色として、グローバル化、情報化、少子高齢化などがみられることを理解する。</p> <p>○現代日本の特色が、政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気づく。</p>	3	<p>①現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。</p> <p>②少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係などに与える影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③少子高齢化、情報化、グローバル化が政治、経済、国際関係に影響を与えていることについて、現代社会にみられる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。</p>
<p>2節 現代につながる伝統と社会</p> <p>1. 豊かな生活を実現するために</p> <p>2. 伝統文化の継承と文化の創造</p> <p>*つなげたい、日本の伝統や文化</p>	<p>○現代社会における文化の意義や影響を理解する。</p> <p>○我が国の伝統と文化に関心をもち、文化の継承と創造の意義に気づく。</p>	2	<p>①現代社会における文化の意義や影響について理解している。</p> <p>②位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
<p>3節 私たちがつくるこれからの社会</p> <p>1. さまざまな人と生きる</p> <p>2. 誰もが大切にできるルールとは</p> <p>3. 地域のルールを考えよう</p> <p>4. よりよい社会を築くために</p>	<p>○人間は本来「社会的存在」であることに着目し、社会生活における物事の決定の仕方、ルールやきまりの意義について考える。</p> <p>○現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解する。</p>	4	<p>①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。また、人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

第2章 個人を尊重する日本国憲法

5 ・ 6 ・ 7	1節 日本国憲法の成り立ちと国民主権 1. 人権の考え方と歴史 2. 憲法はこうして生まれた 3. 国民の意思による政治	<p>○日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原理としていることについての理解を深める。</p> <p>○日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事行為について理解する。</p>	4	<p>①日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原則としていること、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③個人の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
	2節 憲法が保障する基本的人権 1. 基本的人権を尊重すること 2. 差別をしない、させない 3. ともに生きる社会の実現へ *ともに生きる社会をみざす人たち 4. 自由ってなんだろう 5. 自由な社会のために 6. 人間らしい生活とは 7. 人間らしい生活の保障へ 8. 自ら人権を守るために 9. 自由と権利を守るために 10. 発展する人権 *「新しい人権」を考える 11. 人権侵害のない世界に	<p>○基本的人権を守るという視点から、個人の尊重や法の意義についての理解を深める。</p> <p>○民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解し、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意味を考える。</p>	11	<p>①個人の尊重についての考え方を基本的人権を中心に深め、民主的な社会生活を営むためには法に基づく政治が大切であることや、法の意義を理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、基本的人権を中心とした個人の尊重の考え方、民主的な社会生活を営むことの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③基本的人権を守ることや法に基づく政治の意義などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
	3節 私たちと平和主義 1. 憲法に定められた平和主義 2. 日本の安全保障と平和主義のこれから *平和主義のこれまでとこれから	<p>○日本国憲法が掲げる平和主義の考え方の背景とその意義を理解し、我が国の防衛と安全の問題について考える。</p> <p>○我が国の安全保障の現状や課題、国際社会における役割をとらえ、戦争を防止し世界平和を確立するためにどうあるべきかを考える態度を養う。</p>	2	<p>①平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、国の安全と生存を保持しようとする願い、日本が国際紛争解決の手段として戦争を放棄し、陸海空軍その他の戦力を保持しないことを決意したことについて理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の防衛・安全と世界平和を確立し実現することの意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③未来にむけた世界の平和の構築のために、具体的な活動に取り組んでいる人々の姿から、人間の生命の尊さ、平和の尊さを自覚し、国際社会における平和の構築などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

第3章 私たちの暮らしと民主政治

9 ・ 10	1節 民主政治と日本の政治 1. 民主政治ってなんだろう 2. 国民の代表を選ぶ選挙 3. 18歳選挙権と私たち 4. 願いをかなえる政党政治 *マスメディアと政治 *メディアリテラシーを学ぼう ~情報の入手を活用~	<p>○多数決の原理とその運用のあり方について理解を深める。</p> <p>○国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらましや、選挙が果たす役割を理解する。</p>	4	<p>①議会制民主主義の意義や多数決の原理とその運用の在り方、国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらましや政党の役割について理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
--------------	--	--	---	---

	<p>2節 三権分立のしくみと私たちの政治参加</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国会の決定は国民の意思 2. 国会は唯一の立法機関 3. 行政をまとめる内閣 4. 暮らしと関わる行政 5. 人権の尊重と裁判 6. 民事裁判と刑事裁判 7. 私たちの司法参加 <p>*もしも裁判員裁判に参加したら</p> <p>8. 互いに監視し合う三つの権力</p>	<p>○国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、国会(立法)、内閣(行政)、裁判所(司法)による三権分立の原則があることを理解する。</p> <p>○三権が均衡を保ち、それぞれの役割を果たしていくことの重要性に気づく。</p>	9	<p>①国会は、国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であることや、内閣については、我が国が議員内閣制を採用していること、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。また、三つの権力が均衡を保ちながら果たしている役割を理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、将来の主権者として主体的に政治に参加することの意義や、法に基づく裁判の保障、民主的な政治と政治参加に関わる課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>③民主的な国の政治のしくみや政治参加の方法、司法権の独立と法による裁判が憲法で保障されていることなどについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
	<p>3節 地方自治と住民の参加</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地方自治ってなんだろう 2. 暮らしを支える地域の行政サービス 3. 地域の暮らしを支えるために 4. 変わりゆく地域社会 <p>*街づくりのアイデアを提言しよう</p>	<p>○地方自治の基本的な考え方や、地方自治体による政治のしくみを理解する。</p> <p>○住民の権利や義務と関わらせて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を、自ら育てることができる。</p>	5	<p>①地方自治の基本的な考え方や、首長と議会の二つの機関を中心に行われる地方自治体の政治のしくみ、住民の権利や義務について理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、地方自治体が果たしている役割や地方財政のあり方などについて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>③地方自治体で行われている実際の政治と身近な暮らしとの関連や、地域の政治に参加することの意義などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
<h2>第4章 私たちの暮らしと経済</h2>				
10 ・ 11 ・ 12	<p>1節 消費生活と経済活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家計ってなんだろう 2. 消費者を守るもの、支えるもの 3. 生産を消費を結ぶ 	<p>○身近な消費生活を中心に、経済活動の意義を理解する。</p> <p>○流通のしくみについての理解を深め、身近な暮らしと経済活動とのつながりを考える。</p>	4	<p>①身近な消費生活を中心に、経済活動の意義や流通のしくみについて理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や流通機構の変化について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③身近な消費生活や流通のしくみと経済活動とのつながりについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
	<p>2節 企業の生産のしくみ労働</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生産活動をになう主体 2. さまざまな企業 3. 株式会社ってなんだろう 4. 働くということ 5. 安心して働ける社会 <p>*起業にチャレンジしてみよう</p>	<p>○現代の生産のしくみや、企業の果たす役割と責任を理解する。</p> <p>○社会生活において働くことの意義や、働く人に保障された権利について理解する。</p>	6	<p>①現代の生産のしくみや企業のしくみと役割、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。</p> <p>②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③企業がもつ社会的責任や、社会の中で働くことの意義などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

	3節 市場のしくみとはたらき 1. ものの価値の決め方 2. 価格のもつ意味	○市場のしくみと市場がもつ機能について理解する。 ○価格のはたらきに注目して、市場経済の基本的な考え方を理解する。	3	①現代の金融のしくみやはたらき、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 ②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに注目して、金融機関の果たす役割や財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③国民生活における金融機関や財政の果たす役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	4節 金融のしくみと財政の役割 1. 金融のしくみと中央銀行 2. 間接金融と直接金融 3. 財政が果たす三つの役割 4. 税金を納めること 5. 税金の行方と国の借金 6. 経済政策が目ざすもの	○銀行を中心とする現代の金融機関のしくみやはたらきを理解する。 ○国民の生活と福祉の向上を図るために、財政として国や地方自治体が果たしている役割や、租税の役割について考える。	7	①現代の金融のしくみやはたらき、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 ②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに注目して、金融機関の果たす役割や財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③国民生活における金融機関や財政の果たす役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

第5章

1	1節 暮らしを支える社会保障 1. 身のまわりの社会保障制度 2. 互いに助け合う社会 3. 社会保障の維持のために 4. 暮らしやすいまちづくりへ *誰もが「生きづらさ」を感じない社会について考えよう	○社会保障制度のもつ意義と役割について理解する。 ○国民の生活と福祉の向上を図るために、社会資本の整備、社会保障の充実など、財政として国や地方自治体が果たしている役割について考える。	4	①社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに注目して、市場の働きに委ねることが難しい諸課題に関して、国や地方自治体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③国民生活に社会保障が果たす役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	2節 これからの日本経済の課題 1. 循環型社会に向けて 2. グローバル化する経済 3. 新たな日本経済のあり方 *貿易がもたらすもの	○公害の防止など環境の保全についての問題、グローバル化する国際社会における日本、地域経済の活性化など、今後の日本経済が直面する課題をとらえる。 ○今後の日本経済が抱える課題をどのように解決していけばよいのかについて、意欲的に追究する。	3	①公害など環境汚染や自然破壊の問題とその改善のあり方、グローバル化が進む国際社会における日本の貿易の過去と現状、地域社会の現状など、日本経済のこれからのあり方や課題の解決に向けて考えを深めていくための知識を理解している。 ②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに注目して、環境保全の問題、グローバル化する国際社会における日本、地域経済の活性化など、これからの日本経済のあり方や課題とその解決について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③環境保全の問題、グローバル化する国際社会における日本、地域経済の活性化など、これからの日本経済のあり方や課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

第6章 国際社会に生きる私たち

3	1節 国際社会の平和を目ざして 1. 国際社会を構成する国 2. 日本の領土をめぐる *日本の外交の今とこれから 3. 国際社会のまとめ役 4. 地域統合の光と影 5. 世界の一員として 6. 核なき世界の実現へ	○世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、各国が相互の主権を尊重し、各国民が協力し合うことが大切であることを理解する。 ○国際協調のために、国際連合をはじめとする国際機構などが果たす役割や取り組みが大切であることをふまえ、国際社会における我が国の役割について考える。	6	①国際社会において、領土(領海、領空を含む。)、国家主権、国際連合の働きなどの基本的な事項を中心に、国際協調の観点から国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。 ②対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに注目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の果たすべき役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③国際社会の平和と秩序を維持していくために、国際機構が果たす役割の大切さや、よりよい社会を築いていくために、国や企業、民間団体や個人でもできる国際支援の在り方などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
---	--	--	---	--

<p>2節 国際社会が抱える課題と私たち</p> <p>1. 終わらない地域紛争</p> <p>2. さまざまな価値観の中で</p> <p>3. 安全をおびやかすもの</p> <p>4. なくてはならない食糧と水</p> <p>5. 子どもと女性をめぐる</p> <p>6. これからの資源・エネルギー</p> <p>7. 「生命の星」を守るために</p> <p>* 持続可能性を妨げる、さまざまな課題</p>	<p>○地域紛争とその背景にあるものとして考えられる文化・宗教の違い、格差と貧困、子どもと女性、資源・エネルギー、地球環境問題など、国際社会が抱える課題を理解する。</p> <p>○現在の国際社会が抱えるさまざまな課題の解決のために、経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。</p>	7	<p>①地域紛争とその背景，地球環境，資源・エネルギー，貧困など国際社会が抱える多くの課題の解決のために，国際社会全体の経済的，技術的な協力などが大切であることを理解している。</p> <p>②対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，地域紛争とその背景，地球環境，資源・エネルギー，貧困など国際社会が抱える多くの課題の解決のために，我が国の果たすべき役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。</p> <p>③国際社会の平和の維持と現代の国際社会が抱えるさまざまな課題について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>
---	---	---	---

< 補充教材（発展的内容）の取り扱い >

●義務教育の最終学年であることを念頭に置き、選挙制度や株式市場の仕組みなど、現代社会に欠かせない制度や仕組みに関する最新の動きについて、新聞や視聴覚教材を活用するなどして、より深いレベルの内容に対する理解を深める。

< 評価の方法 >

●定期テスト ●単元テスト ●授業観察 ●ワーク ●授業プリント

< 評定算出にあたっての重みづけ >

観点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
重みづけ	1	1	1